

平成30年度 学校評価報告書 (目標設定・実施結果)

視点	4年間の目標 (平成28年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価 (月 日実施)	
			具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
1 教育課程 学習指導	①幅広い学習ニーズに対応する多様で柔軟な教育課程を展開する。 ②「確かな学力」向上のため組織的な授業改善を推進し、生徒が主体的に考える力を育てる。	②「確かな学力」向上のために教育課程の編成及び授業改善を行い、生徒の学習意欲の向上を図る。	②教員相互の授業見学や研究授業、研究協議を活性化させ組織的な授業改善に取り組む。	②生徒による授業評価や生徒学力調査の結果。					
2 (幼児・児童・) 生徒指導・支援	①「健やかな体」と「豊かな心」を育成し、心ふれあう教育を推進する。 ②部活動や生徒会行事を通して生徒が自主的・自立的に活動する姿勢を育成する。	①交通安全教育を推進する ②部活動及び生徒会行事の活性化を図る。	①自転車登下校の事故防止とマナーの向上を図る。 ①学校いじめ防止基本方針に基づき、組織的な対策を実施する。 ②部活実績の内外への周知。部活加入率の増加。 ②生徒会役員を中心とした生徒による行事の自主運営をはかる。	①自転車登下校による事故・けがが減少したか。 ①組織的な対策ができたか。 ②HPの部活実績の更新回数。部活動加入率80%の維持。 ②業務分担の実績、アンケートの結果。					
3 進路指導・支援	生徒一人ひとりのキャリア形成を助長する進路支援の充実を図る。	個々の発達を踏まえるとともに、高大接続改革に対応した「キャリア教育実践プログラム」の充実を図る。	現在進行中の高大接続改革を見据え、本校の生徒の一人ひとりに適した「キャリア教育実践プログラム」を作成する。	本校の実状を踏まえた「キャリア教育実践プログラム」を作成できたか。					
4 地域等との協働	地域社会との協働および交流を通して、地域とのつながり・絆を強化し、地域とともにある学校づくりを推進する。	近隣小中学校や自治会等と連携した地域貢献活動を行い、仲間と協力して自己の能力を社会のために役立てる意義を考えさせる。	自治会行事やボランティア活動の参加を引き続き推進する。また部活動生徒による出前技術指導を実施し、近隣の小学生を招いての書道交流も昨年度同様に年に1回実施する。	・自治会行事やボランティア活動の参加回数や種類の増加。 ・部活動出前技術指導や書道交流の実施回数の維持。					

5	学校管理 学校運営	①信頼に根ざした学校づくりを推進する。 ②不祥事・事故防止の徹底を図る。	②私費・県費とも適切な執行を図り、誤りのない書類の作成を徹底するとともに、伝票が職員の手元で止まらぬように円滑な会計処理に努める。	②複数の担当者により適切な執行が行われているかを確認し合う。また、伝票を起案して終わりという感覚でなく、起案後も書類が円滑に回覧されているかを気かけ、執行が滞らないようにする。	②複数で確認し、適切な会計処理がなされているか。出納簿・報告書にも誤りが無いか。書類作成から書類整理も含め会計処理が適切な日数で処理できたか。					
---	--------------	---	---	--	---	--	--	--	--	--